



尾張旭ロータリークラブ

・会長 山田 直樹 ・幹事 仲澤 昌容 ・クラブ会報 桜井 雅博
 ・例会日 毎週金曜日 12:30 ・例会場 〒488-0801 尾張旭市東大道町原田2570-3
 ・事務局 尾張旭市商工会館 TEL 0561-54-1263 FAX 0561-54-8945
 E-mail : jim@owariasahi-rc.org URL : http://www.owariasahi-rc.org

本日 第2249回 2017年6月24日(土) No. 2134

本日のプログラム Today's Program

担当者:親睦活動委員会

点 鐘 18:30~

夜間例会 於 ラクテイクス名古屋

前回 第2248回 2017年6月16日(金) 記 録

○斉唱:「我等の生業」

出席者:会員 21 名中 16 名出席 出席率 76.19%
 前々回補正出席率 6月2日分 100.00%

会長あいさつ 山田 直樹



皆さんこんにちは。今日の例会は第 2248 回になりますが、本例会場での今年度最後の例会となります。1 年間私の会長挨拶をお聞きいただきありがとうございます。お陰で当クラブの例会を一度も休まずにこられました。また 1 年間おおむね恙なくやってきましたのもひとえに皆様メンバーからのご理解と温かい応援ご協力があったからこそだと思います。感謝申し上げます。女房役を勤めてくれました仲澤幹事には格別にお世話になりました。彼がいてくれたらこそ、この非常に難しいクラブ運営を強いられる 1 年を大きなトラブルもなくやってこられたのだと確信しています。二人とも共通の価値観、共通の認識をもって臨めてこられたのも大変ありがたいことでした。改めて感謝申し上げます。多義にわたりスリムな組織に作り上げることができ

ましたので、今後のクラブ運営にいい影響を及ぼすと思います。この間の 3 分間スピーチでももうしあげましたが、私たちは小さなクラブですがまた大変なお金持ちがメンバーにいるわけでもなく、皆で出した資金をもとに身の丈にあった活動しかできませんが、東北支援事業のように何年も続けることができるのは、日頃の各メンバーのロータリアンとしての自覚および理解度の向上を目指す心を持っているからだ、1 年間会長としての目をとおして見させていただいた素直な感想です。まだまだ研鑽を積んでいかなければならないことは当然のことですが、このクラブのメンバーであることを改めて誇りに思います。現在私達の中には仕事の面で苦勞している人も、ロータリー活動をする時間を作ることが難しいひと、お金の苦勞している人もみえるでしょう。でもこのロータリアンバッジをつけている以上、地域で援助を求めている人(団体)困っている人(団体)の身近な存在でなくてはならないと思います。安倍総理大臣は私と同世代で、大変期待していたのですがどうも最近はあまり他の意見に耳を傾けるといふ姿勢は垣間見られません。どちらかといふと弱い立場の人々に寄り添うといふ姿勢はないように思います。民のかまどに火がつ

ロータリー親睦活動月間

	6月30日(金)	7月7日(金)	7月14日(金)	7月21日(金)
例会予定	休会 定款第 6 条第一節 により	卓話担当者:西尾 輝久君 卓話者:2017-18 年度 会長 西尾 輝久君 演題:「会長所信表明」	卓話担当者:各委員長 卓話者: " " 演題:「各委員長事業説明」	卓話担当者:各委員長 卓話者: " " 演題:「各委員長事業説明」

いているかどうかはたぶんわかっていないと思います。かつて日本のサッカー界からヘッドコーチとして招かれたドイツ人クラマーさん（彼は1960年から日本代表を指導し、1964年東京オリンピックでベスト8に導き、1968年メキシコオリンピックで銅メダルを獲得して、日本サッカーの礎を作った人）は、東京オリンピックで日本が優勝候補筆頭だったアルゼンチンに勝利した時、周囲が勝利の喜びに沸きあがっている最中、「勝者には友達が集まってくる。新しい友達もできる。本当に友達が必要なのは敗れた時であり、敗れた方である。私は敗れた者を訪れよう。」とアルゼンチンチームの控室に向かいました。この良き伝統は今のサッカー界に脈々と受け継がれています。こんな気持ちを忘れずにみなさん一緒にこれからも歩んでいけたらと切に思う今日この頃になりました。すべての人に改めて感謝を申し上げ挨拶を終わります。

幹事報告

本日の会合：第2回次期クラブ協議会 於尾張旭市
商工会館内 第一会議室 13：40～

ニコボックス

○1年間、会長職を無事に終えることができました。皆様のご協力に心より感謝致します。

山田 直樹君

○山田年度の商工会館での例会は本日最後です。ありがとうございました。 仲澤 昌容君

○山田さん、卓話楽しみにしています。よろしく!

江尻 豪君

○例会場では、今年度最後の例会ですネ。山田会長のクラブフォーラム卓話を楽しみにしております。 桜井 雅博君

○本日、最終例会。皆様お疲れ様でした。

富田 晃君

○山田船ご苦労様でした。 箕輪 良孝君

○財団、米山委員長、お疲れ様でした。

井田 武憲君

○今期、広報委員長を担当致しました。皆様の多大なご協力を賜りありがとうございました。

桜井 雅博君

○委員長を終えて。 古橋エツ子君

○職業奉仕委員長、社会奉仕委員長、無事に終え、ご協力ありがとうございました。 古橋 裕志君

○管理運営委員会を主軸に、会場・出席委員会で1年お世話になりました。 箕輪 良孝君

○ニコボックス、親睦活動委員会の上では、皆様の御協力を頂き、誠にありがとうございました。次週夜間例会、どうぞよろしくお願ひします。

森井 晴生君

○本年最後のニコボックス強化月間ですね。

西尾 輝久君

○東山動植物園に行った夫が、ロータリークラブ寄贈の看板を見たようで、「こういう事もするんだね」と言ったことが、うれしかったです。

古橋エツ子君

○明日、明後日、鈴鹿で長男の高校最後の東海大会です。応援がんばってきます。 松永 洋子君

第2回次期クラブ協議会

日時：2017年6月16日（金）13：40～

場所：尾張旭市商工会館内 第一会議室

議題1) 次年度各委員会事業計画と予算について

2) その他の件

・検討事項として、理事役員会とクラブ協議会を合同で行うことの可否を検討。

第6回クラブフォーラム



山田年度のまとめと、会員皆様からのご意見をお聞きしました。



ハイライト米山

ロータリー米山記念奨学会は2017年7月、財団設立50周年を迎えます。1952年に東京ロータリークラブが始めたこの事業は、またたく間に日本全国へ広がり、1957年には財団法人設置を前提とする全国組織、「ロータリー米山奨学委員会」が結成されました。1967年には悲願の財団法人となり、以来50年、日本のロータリーや学友が思いをつないでいます。財団法人設立当時、年間59人だった奨学生数は、今では約800人、累計では19,810人となりました。

「平和日本を世界へ」——。当初のロータリアンたちの願いは、半世紀の時を経て少しずつ花となり、実となっているのではないのでしょうか。

2017-18年度は
財団設立50周年

